

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-127687

(43)Date of publication of application : 19.05.1998

(51)Int.Cl.

A61F 13/15

A41B 13/04

A61F 5/44

(21)Application number : 08-291472

(71)Applicant : DAIO PAPER CORP

(22)Date of filing : 01.11.1996

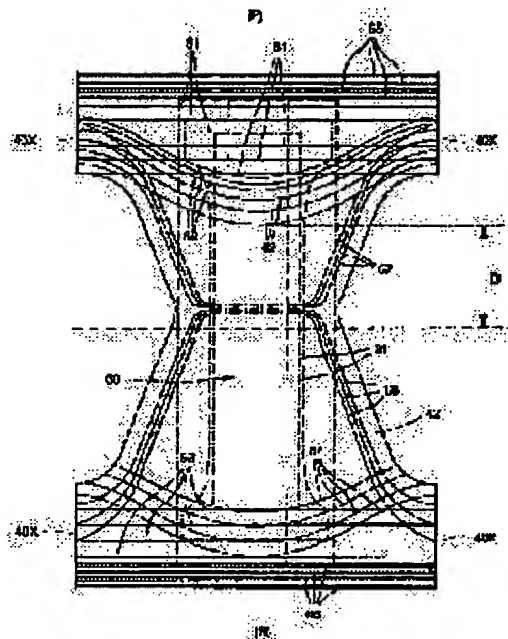
(72)Inventor : TABATA KENICHI

(54) BRIEF-TYPE DISPOSABLE PAPER DIAPER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve the property of fitting to the physique of a wearing person and to prevent the leakage of excretion from the opening surfaces on the waist.

SOLUTION: At positions corresponding to the belly on a front body F, plural elastic belly stretching members 61 are provided along lateral direction and plural front body hang-up elastic stretching members 62 are provided so as to position both the terminal parts at the positions corresponding to the belly, to expand a central part to the downside of inleg, relating that central part to cross a main absorptive body 31 and further to be displaced from the longitudinal center line of a product to the side of front body edge more than 30mm.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 25.04.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 13.08.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3382793

[Date of registration] 20.12.2002

[Number of appeal against examiner's decision of rejection] 2002-17611

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] 12.09.2002

[Date of extinction of right]

BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-127687

(43)公開日 平成10年(1998)5月19日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

F I

A 6 1 F 13/15

A 4 1 B 13/02

T

A 4 1 B 13/04

13/04

A 6 1 F 5/44

A 6 1 F 5/44

H

審査請求 未請求 請求項の数5 O L (全 9 頁)

(21)出願番号

特願平8-291472

(22)出願日

平成8年(1996)11月1日

(71)出願人 390029148

大王製紙株式会社

愛媛県伊予三島市紙屋町2番60号

(72)発明者 田畑 憲一

愛媛県伊予三島市紙屋町5番1号 大王製
紙株式会社内

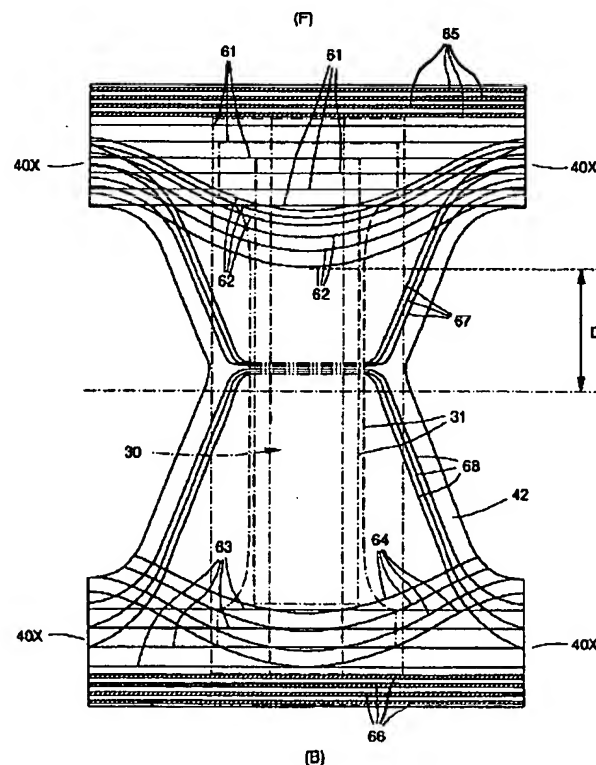
(74)代理人 弁理士 永井 義久 (外1名)

(54)【発明の名称】 パンツ型使い捨て紙おむつ

(57)【要約】

【課題】着用者の体形に対するフィット性を向上させる。また、腰部開口面からの尿漏れ、便漏れを防止する。

【解決手段】前身頃Fの腹部相当個所に横方向に沿って複数本の腹部弾性伸縮部材61を設け、両端部が腹部相当個所に位置し、中央部が股下側に膨らみ、かつその中央部が吸収主体体31と交差する関係にあり、さらに製品の前後方向中央線から30mm以上前身頃縁側に偏位する複数本の前身頃持ち上げ弾性伸縮部材62を設けた。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】透液性トップシートと不透液性バックシートとこれらの間に介在された吸収体を有するおむつ本体を備え、製品状態で前身頃と後身頃とがその側部においてそれぞれ一体化されたパンツ型使い捨て紙おむつにおいて、

前記前身頃の腹部相当個所に横方向に沿って1本または複数本の腹部弾性伸縮部材を設け、

両端部が腹部相当個所に位置し、中央部が股下側に膨らみ、かつその中央部が前記吸収体の配設位置と交差する関係にあり、さらに製品の前後方向中央線から30mm以上前身頃縁側に偏位する；1本または複数本の前身頃持ち上げ弾性伸縮部材を設けたことを特徴とするパンツ型使い捨て紙おむつ。

【請求項2】前記腹部相当個所に対応した後身頃の臀部個所に横方向に沿って1本または複数本の臀部弾性伸縮部材を設け請求項1記載のパンツ型使い捨て紙おむつ。

【請求項3】前記腹部相当個所に対応した後身頃の臀部個所に横方向に沿って1本または複数本の臀部弾性伸縮部材を設け、

さらに後身頃において、両端部がほぼ脚回り開口部に位置し、中央部が背中側に膨らみ、かつその中央部が前記臀部個所に位置している1本または複数本の後身頃フィット用弾性伸縮部材を設けた請求項1記載のパンツ型使い捨て紙おむつ。

【請求項4】前記腹部相当個所に対応した後身頃の臀部個所に横方向に沿って1本または複数本の臀部弾性伸縮部材を設け、

さらに後身頃において、両端部が前記臀部個所に位置し、中央部が股下側に膨らみ、かつその中央部が前記吸収体の配設位置と交差する関係にある1本または複数本の後身頃持ち上げ弾性伸縮部材を設けた請求項1記載のパンツ型使い捨て紙おむつ。

【請求項5】さらに、両脚回りを封止する1本または複数本の脚回り弾性伸縮部材を設けた請求項1～4のいずれか1項記載のパンツ型使い捨て紙おむつ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、パンツ型使い捨て紙おむつに係り、特に、幼児または小児などの着用者の体形にフィットするとともに、腰部開口面からの尿漏れ、便漏れを防止するパンツ型の使い捨て紙おむつに関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、透液性トップシートと不透液性バックシートの間に少なくとも脚回り部分に前記各シートにより構成されるフラップ部分を残して吸収体が内包され、使用に際しては前身頃に対して後身頃に固定された止着テープを止着することにより、着用者の股間部分を包むようにした紙おむつが汎用されている。

2

【0003】ところが、おむつ離れを促進するなどの目的で、あるいはその都度止着テープを用いての装着作業から大人を解放し、装着を簡便化するなどの目的をもって、近年、いわゆるパンツタイプの紙おむつが開発されている。

【0004】このパンツタイプの紙おむつについては既に種々の提案がなされており、その一例として、実用新案登録第3024357号公報における、添付図面の図10に示したものを挙げることができる。すなわち、ポリエチレンなどからなる不透液性バックシート2上に、前部と後部の腰回り部分に腰回り弾性伸縮部材6、7を配設するとともに、両端部を腰回り弾性伸縮部材6より下方に位置を位置させ、中央部を股下側に膨らませた脚回り第1弾性伸縮部材4と、両端部を腰回り弾性伸縮部材7より下方に位置を位置させ、中央部を股下側に膨らませた脚回り第2弾性伸縮部材5とを設け、さらに腹部および背側においてそれぞれ腹部弾性伸縮部材8および背側弾性伸縮部材9をも設け、各弾性伸縮部材9をホットメルト接着剤により不透液性バックシート2に固定し、その上に吸収体3を配設し、さらにその上から透液性トップシート1を重ねて一体化させ、前後方向に折り畳み、かつ折り畳んだ両側縁部分を超音波溶接法などで固定することにより、パンツタイプの紙おむつとされる。

【0005】この場合、腰回り弾性伸縮部材6、7は紙おむつの開口部を封止し、腹部弾性伸縮部材8および背側弾性伸縮部材9はそれぞれ腹部および背側に対して当たりずり落ちを防止し、脚回り第1弾性伸縮部材4および脚回り第2弾性伸縮部材5は脚回りを封止する機能がある。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】着用者である幼児や小児の体形は、一般に、成人より腹部および尻部が突出し丸みを帯びており、肌が敏感であるので、紙おむつ自体のずり落ちを防止できる範囲内で腹部の圧迫を可能な限り避けるべきである。

【0007】しかし、前記先行技術においては、紙おむつ自体のずり落ちを防止するために、腰回り弾性伸縮部材6、7による締め付けを補強することを目的として、腹部弾性伸縮部材8および背側弾性伸縮部材9を設けるものの、紙おむつ自体のずり落ちを確実に防止するためには各弾性伸縮部材8、9がある強い収縮力が必要となるために、かつこれらが横方向に一様に沿って配設されるがために、特に丸みを帯びた腹部に対して強い圧迫力となって着用者に負担がかかる。

【0008】したがって、本発明の主たる課題は、着用者の腹部に対する過度の圧迫力の作用を防止することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決した請求

3

項1記載の発明は、透液性トップシートと不透液性バックシートとこれらの間に介在された吸収体とを有するおむつ本体を備え、製品状態で前身頃と後身頃とがその側部においてそれぞれ一体化されたパンツ型使い捨て紙おむつにおいて、前記前身頃の腹部相当個所に横方向に沿って1本または複数本の腹部弾性伸縮部材を設け、両端部が腹部相当個所に位置し、中央部が股下側に膨らみ、かつその中央部が前記吸収体の配設位置と交差する関係にあり、さらに製品の前後方向中央線から30mm以上前身頃縁側に偏位する1本または複数本の前身頃持ち上げ弾性伸縮部材を設けたことを特徴とするパンツ型使い捨て紙おむつである。

【0010】請求項2記載の発明は、前記腹部相当個所に対応した後身頃の臀部個所に横方向に沿って1本または複数本の臀部弾性伸縮部材を設け請求項1記載のパンツ型使い捨て紙おむつである。

【0011】請求項3記載の発明は、前記腹部相当個所に対応した後身頃の臀部個所に横方向に沿って1本または複数本の臀部弾性伸縮部材を設け、さらに後身頃において、両端部がほぼ脚回り開口部に位置し、中央部が背中側に膨らみ、かつその中央部が前記臀部個所に位置している1本または複数本の後身頃フィット用弾性伸縮部材を設けた請求項1記載のパンツ型使い捨て紙おむつである。

【0012】請求項4記載の発明は、前記腹部相当個所に対応した後身頃の臀部個所に横方向に沿って1本または複数本の臀部弾性伸縮部材を設け、さらに後身頃において、両端部が前記臀部個所に位置し、中央部が股下側に膨らみ、かつその中央部が前記吸収体の配設位置と交差する関係にある1本または複数本の後身頃持ち上げ弾性伸縮部材を設けた請求項1記載のパンツ型使い捨て紙おむつである。

【0013】請求項5記載の発明は、さらに、両脚回りを封止する1本または複数本の脚回り弾性伸縮部材を設けた請求項1～4のいずれか1項記載の請求項1記載のパンツ型使い捨て紙おむつである。

【0014】請求項1記載の発明においては、前身頃の腹部相当個所に横方向に沿って1本または複数本の腹部弾性伸縮部材を設ける一方で、両端部が腹部相当個所に位置し、中央部が股下側に膨らみ、かつその中央部が前記吸収体の配設位置と交差する関係にあり、さらに製品の前後方向中央線から30mm以上前身頃縁側に偏位する1本または複数本の前身頃持ち上げ弾性伸縮部材を設けた。その結果、前身頃持ち上げ弾性伸縮部材が吸収体を前身頃縁（開口縁）側に持ち上げ、腹側からの尿または便漏れを防止する（特にうつ伏せ時において）。

【0015】他方で、腹部弾性伸縮部材が紙おむつの前身頃を着用者の腹部に当てる。この場合、前身頃持ち上げ弾性伸縮部材により吸収体の前身頃縁側に持ち上げ機能が作用した状態で、腹部弾性伸縮部材が紙おむつの前

4

身頃を締め付けるので、両者の機能が相俟って吸収体のずれ落ちが防止され、したがって運動中においても前身頃がずれ落ちることはなくなる。逆に、ずれ落ちは主に前身頃持ち上げ弾性伸縮部材に負担させることにより、腹部弾性伸縮部材は紙おむつの前身頃を着用者の腹部をフィットさせる程度の締め付け力で足りるので、その締め付け力は比較的小さい力で足りる。その結果、着用者の腹部に過度の圧迫力が作用することを防止できる。

【0016】この場合における、前身頃持ち上げ弾性伸縮部材の中央部は、製品の前後方向中央線から30mm以上（より好ましくは45mm以上）前身頃縁側に偏位するものとしてある。図3の符号Dで示すその偏位距離が短いと、単に股下部（の吸収体）を着用者側に押し付ける機能しか有せず、前記公報の脚回り弾性伸縮部材と同様の機能しか果たさない。

【0017】他の請求項の発明の特有の作用については、以下の実施の形態の説明の中で、述べることとする。

【0018】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面により具体的に説明する。図1～図5および図7～図8は、本発明に係るパンツタイプの紙おむつの第1の構造例を示したものである。この紙おむつは、典型的に図4および図5に構造が明示されているように、不織布などからなる透液性トップシート10とポリエチレンシートなどからなる不透液性バックシート20とにより、綿状パルプなどからなる吸収体主体31を含む構造のおむつ本体30が、本体バックシート40に設けられている。

【0019】実施例における吸収体主体31は、広い面積の砂時計形の上吸収体主体31Aと若干狭い面積の長方形の下吸収体主体31Bとを含み、これらがティッシュペーパー32A、32Bで包まれ、図示しないが適宜の位置に高分子吸収ポリマーを含有し、全体として寸法が変化しないが変形が可能な半剛性を示す。

【0020】逆に、この吸収体主体31上に対して、透液性トップシート10がほぼ全面においてホットメルト接着剤H（他の各部位への接着のために用いるホットメルト接着剤についても同一の符号Hで図示する）により固定され、吸収体主体31下に対して、不透液性バックシート20がホットメルト接着剤Hにより固定され、おむつ本体30を構成している。

【0021】さらに、前記の構成要素からなるおむつ本体30に対して、広い面積の弾性伸縮性を示す本体バックシート40が別途設けられている。本体バックシート40は、フラップ部を形成すべく吸収要素より外形が大きく、全体として疑似砂時計形状をなしており、裏面バックシート42に対して、表面バックシート41をホットメルト接着剤Hによって貼り合わせたものである。

【0022】製品の両側にはサイドバリアーカフス50、50が設けられている。これらのバリアーカフス5

5

0, 50は好ましくは不透液性または撥水性を示すシートを構成要素とする。

【0023】サイドバリアーカフス50は、その構成シートの一侧部が表面バックシート41と不透液性バックシート20との間に介在され、それらにホットメルト接着剤Hによりそれぞれ固定され、外側縁部においてティシュペーパー32Bの側縁を包みながら製品の表面側に折り返され、折り返し部分が製品の中央線側に延在し、その延在部分の一部が内側縁部を構成して内側に折り返され、さらに、構成シートの前記内側縁部において第1

起立用弾性伸縮部材51が、前記外側縁部において第2起立用弾性伸縮部材52をホットメルト接着剤（符号で図示せず）により構成シートに固定され、これらの第1起立用弾性伸縮部材51と第2起立用弾性伸縮部材52との中間がホットメルト接着剤Hにより透液性トップシート10の側縁部に固定されている。

【0024】サイドバリアーカフス50を構成する構成シートの前記内側縁部近傍の製品の前後端部は、透液性トップシート10に対して図示しないホットメルト接着剤により固定されている。

【0025】その結果、図4の右方において仮想線で図示するように、第1起立用弾性伸縮部材51の前後端部はおむつ本体30に拘束される結果、製品の使用状態において、その中間部のみが自由端部となり、第1起立用弾性伸縮部材51の収縮力に伴って製品の内側に向かって起立し、第1バリアーカフス部B1を構成する。これに対して、サイドバリアーカフス50を構成するシートの前記外側縁部の前後端部も、裏面バックシート42が透液性トップシート10およびサイドバリアーカフス50の前後端部を覆うように表面側に折り返され（この構造の詳細は図示していないが、折り返し部を符号42aで示す）てホットメルト接着剤により固定される結果、前後端部はおむつ本体30に拘束され、製品の使用状態において、その中間部のみが自由端部となり、第2起立用弾性伸縮部材52の収縮力に伴って製品の外側に向かって起立し、第2バリアーカフス部B2を構成する。

【0026】図4の例に対して、ティシュペーパー32Bが第2バリアーカフス部B2まで延在することなく、図6に示されているように、上吸収体主体31Aと若干狭い面積の長方形の下吸収体主体31Bとを含む変形例も提案される。

【0027】一方、製品を着用者に対してフィットさせ、かつ尿や便の漏れ防止するために、主に図1および図3に明示されているように、各種の弾性伸縮部材が表面バックシート41と裏面バックシート42との間に介在され、両シートに対してホットメルト接着剤Hにより固定されている。

【0028】以下にこれについて詳述すると、前身頃Fの腹部相当個所（図8参照）に横方向に沿ってたとえば糸ゴムからなる複数本（図示例では6本）の腹部弾性伸

6

縮部材61を設け、両端部が腹部相当個所に位置し、中央部が股下側に膨らみ、かつその中央部が前記吸収体主体31の配設位置と交差する関係にあり、さらに製品の前後方向中央線Lから30mm以上前身頃F縁側に偏位する、たとえば糸ゴムからなる複数本（図示例では6本）の前身頃持ち上げ弾性伸縮部材62を設けてある。

【0029】他方、前記腹部相当個所に対応した後身頃Bの臀部個所（図8参照）に横方向に沿ってたとえば糸ゴムからなる複数本（図示例では4本）の臀部弾性伸縮部材63を設けてある。

【0030】さらに後身頃Bにおいて、両端部がほぼ脚回り開口部に位置し、中央部が背中側に膨らみ、かつその中央部が前記臀部個所に位置しているたとえば糸ゴムからなる複数本（図示例では4本）の後身頃フィット用弾性伸縮部材64も設けてある。

【0031】また、前身頃Fの開口部および後身頃Bの開口部において、たとえば帯ゴムなどからなる、図示例では各4本の腰回り弾性伸縮部材65、66がそれぞれ設けられている。

20 【0032】一方、両脚回りを封止する1本または複数本（図示例では各3本）の脚回り弾性伸縮部材67、68が設けられている。これらの脚回り弾性伸縮部材67、68は、脚回りを封止する限り各種の態様があるが、図示例においては、脚回り弾性伸縮部材67においては、前身頃Fの両側縁部間を繋ぎ股下最下部に向かって膨らみ、脚回り弾性伸縮部材68においては、後身頃Bの両側縁部間を繋ぎ股下最下部に向かって膨らみ、弾性伸縮部材67、68の最下部が前後方向中央線L近傍において接近しているものである。弾性伸縮部材67、68の最下部は、図3の仮想線で示すように、連続するほか、その仮想線部分を切除することが可能である。また、脚回り弾性伸縮部材は、脚回りに沿って前後身頃方向に連続して沿うものであってもよい。

【0033】かかる構造においては、図7に示されているように、本体バックシート40が前後方向に折り重ねられの側部40X、40X相互が熱溶着またはホットメルト接着剤などにより接合され、パンツ型の紙おむつが組み立てられる。図2に示された70は紙おむつを丸めて廃棄する際に固定するための3つ折り粘着テープである。

【0034】かかる態様においては、図8に示す態様からも容易に推測できるように、前身頃持ち上げ弾性伸縮部材62が吸収体主体31を前身頃Fの縁側に持ち上げ、吸収体主体31のずれによる腹側からの尿または便漏れを防止する。他方で、腹部弾性伸縮部材61が紙おむつの前身頃Fを着用者の腹部に当てる。前述のとおり、これらが相俟って、吸収体のずれ落ちを防止、着用者の腹部への過度の圧迫力の作用を防止できる。

【0035】一方で、後身頃Bにおいては、前記腹部相当個所に対応した後身頃Bの臀部個所に横方向に沿って

50

7

臀部弾性伸縮部材63が設けられている。この臀部弾性伸縮部材63は紙おむつの臀部相当部分(図示例においては正確には臀部より若干上の背骨領域)を着用者の臀部に当てるとともに、腹部弾性伸縮部材61と共働して臀部および腹部を締め付ける。さらに、後身頃フィット用弾性伸縮部材64は、その両端部がほぼ脚回り開口部に位置し、中央部が背中側に膨らみ、かつその中央部が前記臀部個所に位置しているため、お尻の下部の丸みに沿って、後身頃の開口部の上端部分を臀部より若干上の背骨領域に引き上げることにより、後身頃の吸収体主体31を着用者に好適にフィットさせるようになる。

【0036】脚回り弾性伸縮部材67、68は、もとより脚回り開口部を封止してフィット性を高める。本発明において必須ではない腰回り弾性伸縮部材65、66は、腰回りからの尿や便の漏れを防止する。

【0037】図9は第2の例を示したもので、前記腹部相当個所に対応した後身頃Bの臀部個所に横方向に沿って1本または複数本の臀部弾性伸縮部材63を設けるほか、両端部が前記臀部個所に位置し、中央部が股下側に膨らみ、かつその中央部が前記吸収体主体31の配設位置と交差する関係にある1本または複数本(図示例では6本)の後身頃持ち上げ弾性伸縮部材69を設けたものである。

【0038】この場合には、前身頃持ち上げ弾性伸縮部材62と同様に、後身頃において、後身頃持ち上げ弾性伸縮部材69が吸収体主体31を持ち上げる機能がある。

【0039】図10に示すように、後身頃持ち上げ弾性伸縮部材69は省略する構造も提案される。

【0040】これらの各態様は、着用者の年齢、および購入者の目的とする機能の選択によって提供される。

【0041】実施例におけるバリアーカフスは、第1バリアーカフス部B1と第2バリアーカフス部B2とが形成される構造である。この構造においては、尿または特に軟便で第1バリアーカフス部B1を越えたとしても、第2バリアーカフス部B2で封止する機能がある。

【0042】実施例に係る紙おむつにおいては、本体バックシート40が弾性伸縮性を示す。したがって、おむつを装着させたとき、着用者に対して本体バックシート40の全体が締め付けられるようになり、これに伴って着用者の動きが活発であったとしても、吸収体主体31が肌から離れることなく、常時フィットするようになる。

【0043】前述の図1～図5および図7～図8に示された第1の構造例は、透液性トップシート10と不透液性バックシート20とこれらの間に介在された吸収体とを有するおむつ本体30に対して、さらに本体バックシート40が設けられて、本発明の本発明のパンツ型紙おむつを構成している。

【0044】これに対して、図11に示すように、透液性トップシート10Aと不透液性バックシート20Aと

8

の間に、吸収体主体31を介在させる構造とすることができる。この場合において、前述の各弾性伸縮部材は不透液性バックシート20Aにホットメルト接着剤により固定できる(この態様における各弾性伸縮部材は図示していない)。したがって、図11の例においては、本発明にいうおむつ本体そのものが製品状態においてそのまま本発明のパンツ型紙おむつを構成している。

【0045】本体バックシート40は、ムレ防止などの点から、通気性および防水性(撥水性)の少なくとも一方、より好ましくは両者の特性を有するのが望まれる。その素材は適宜選択できるが、その例としては、ポリプロピレン主体の熱融着繊維とレーヨン繊維を混綿したレーヨンスパンレース不織布と、ウレタンやイソブレンゴム系の材料を主体とするメルトブロー不織布を熱融着、超音波接合、ホットメルト接着剤による接合などにより一体化し、前者の不織布を着用者の肌側に使用するものを挙げることができる。

【0046】第1の構造例においては、不透液性バックシート20を用いたが、本体バックシート40が非透液性であれば、透液性を示すものでもよい。すなわち、不透液性バックシート20と本体バックシート40の少なくとも一方が不透液性であればよい。さらに、本体バックシート40が不透液性であれば、図11の態様から推測できるように、これ自体を本発明にいう不透液性バックシートとして使用し、不透液性バックシート20を省略することも可能である。

【0047】バリアーカフスとして、ほぼ全体を折り返し二重シートとしたが、起立部は一重シートであってもよい。起立用弾性伸縮部材の本数などは適宜である。また、バリアーカフスは省略することも可能である。

【0048】

【発明の効果】以上のとおり、本発明によれば、着用者の体形に対するフィット性を向上させ、かつ特に吸収体主体のずり落ちを防止することにより、腰部開口面からの尿漏れ、便漏れを確実に防止することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るパンツ型紙おむつの弾性伸縮部材の配置例を示す展開図である。

【図2】製品の展開図である。

【図3】吸収要素との関係を示した展開図である。

【図4】図2における4-4線矢視図である。

【図5】図2における5-5線矢視図である。

【図6】別の態様における図2における4-4線矢視相当図である。

【図7】本発明に係るパンツ型紙おむつの製品状態斜視図である。

【図8】製品状態における弾性伸縮部材の配置例の説明図である。

【図9】弾性伸縮部材の他の配置例を示す展開図である。

9

10

【図10】弾性伸縮部材の別の配置例を示す展開図である。

【図11】本発明の他の例を示す展開図である。

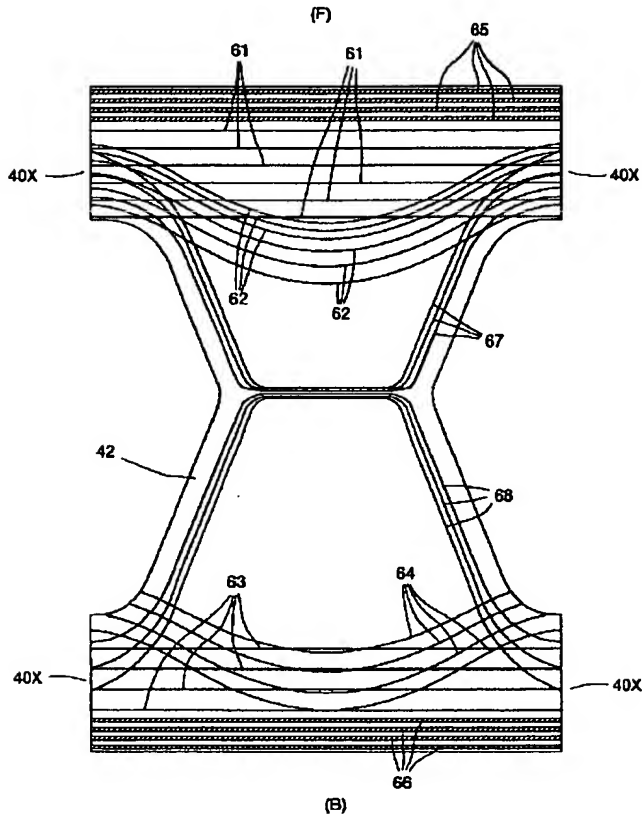
【図12】従来のパンツ型紙おむつの展開図である。

【符号の説明】

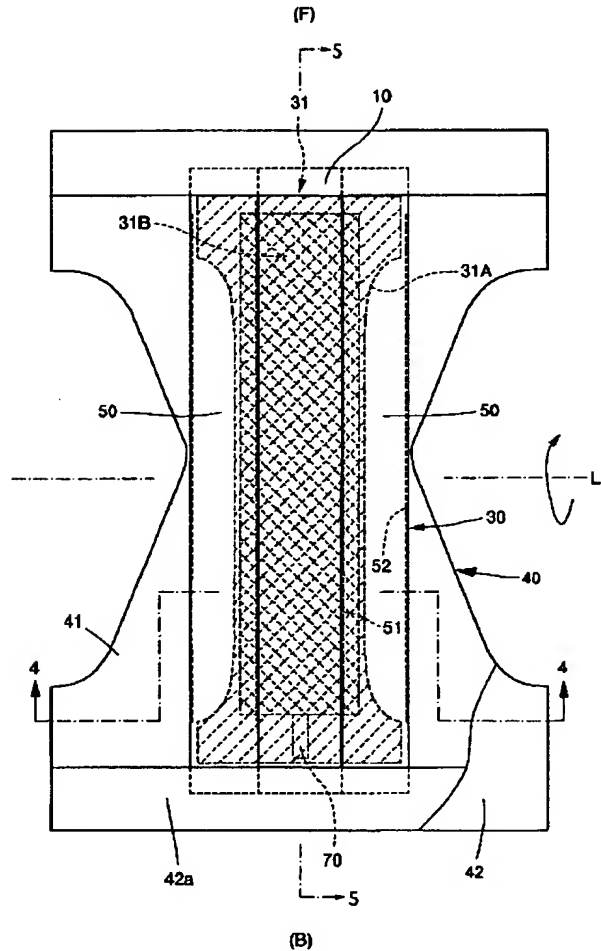
10…透液性トップシート、20…不透液性バックシート、30…おむつ本体、31…吸収主体、40…本体バックシート、50…サイドバリアーカフス、51…第1

起立用弾性伸縮部材、52…第2起立用弾性伸縮部材、61…腹部弾性伸縮部材、62…前身頃持ち上げ弾性伸縮部材、63…臀部弾性伸縮部材、64…後身頃フィット用弾性伸縮部材、65、66…腰回り弾性伸縮部材、67、68…脚回り弾性伸縮部材、69…後前身頃持ち上げ弾性伸縮部材、F…前身頃、B…後身頃、H…ホットメルト接着剤。

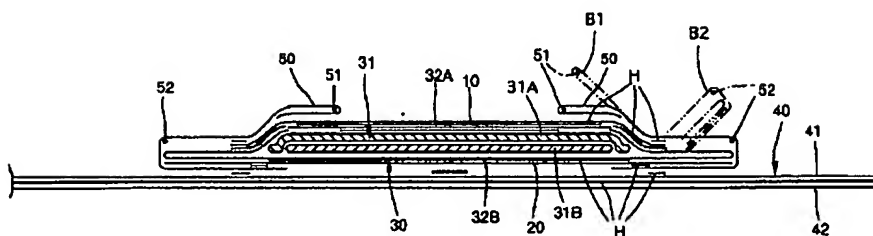
【図1】



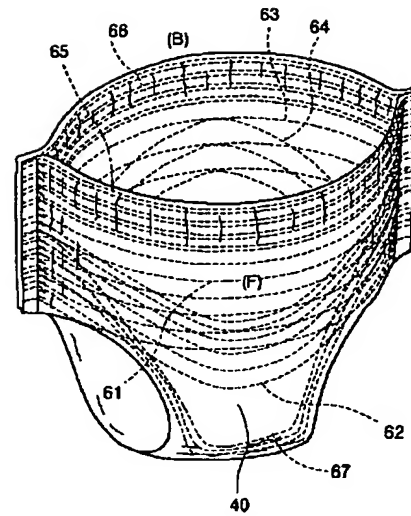
【図2】



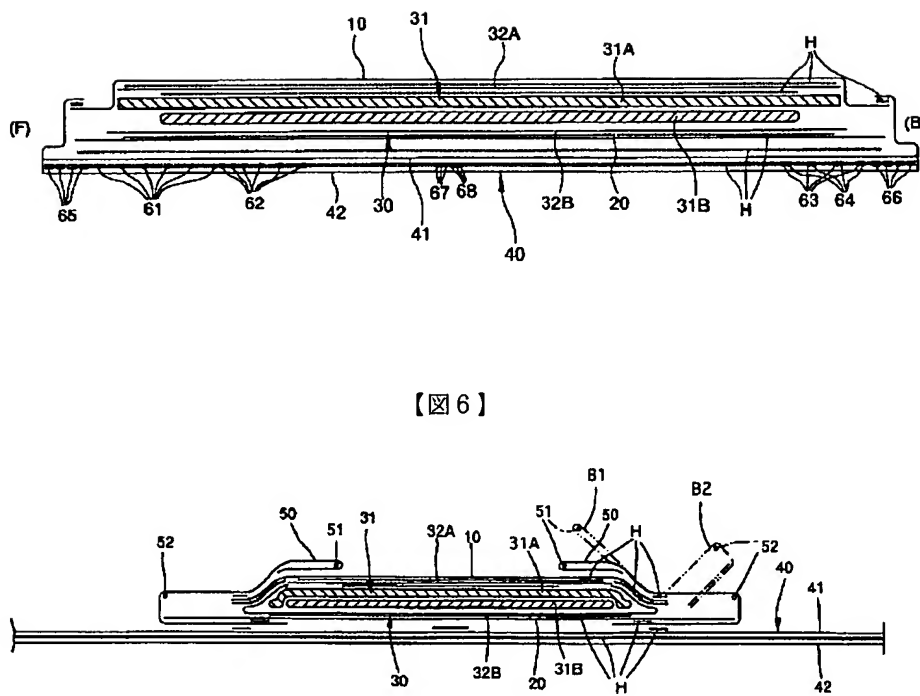
【図4】



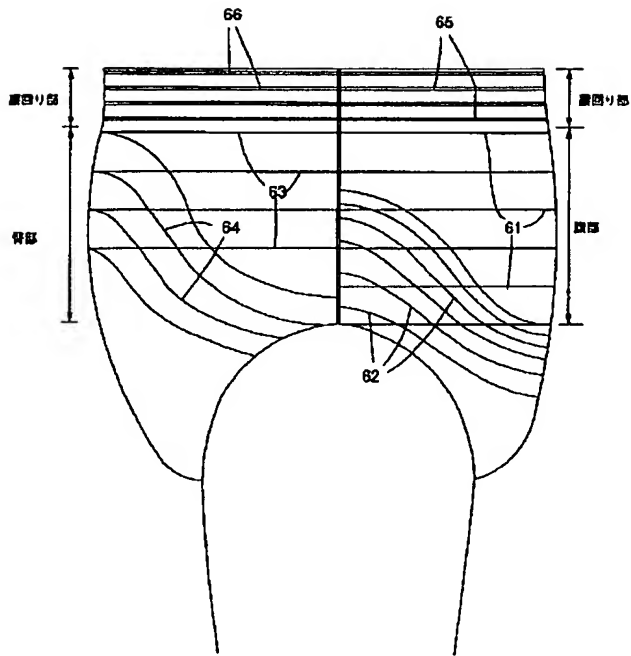
【図 3】



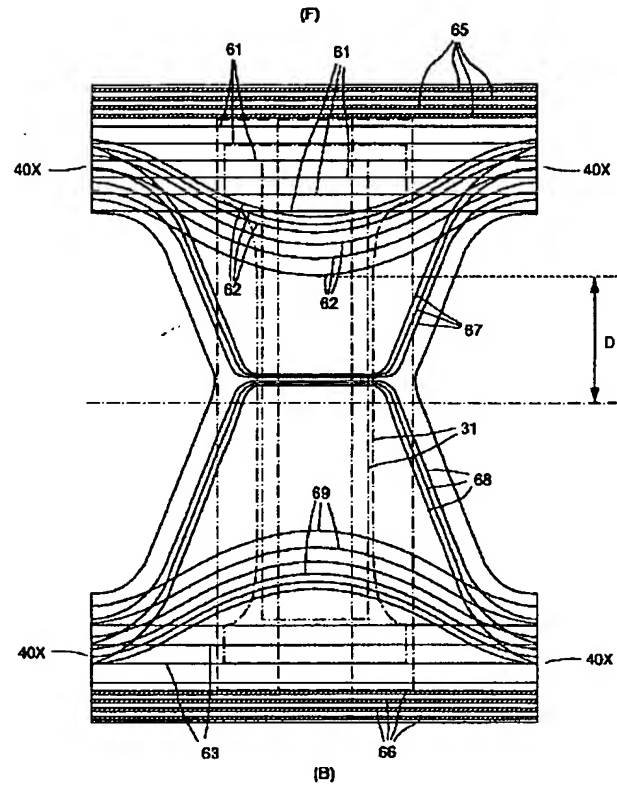
【図 5】



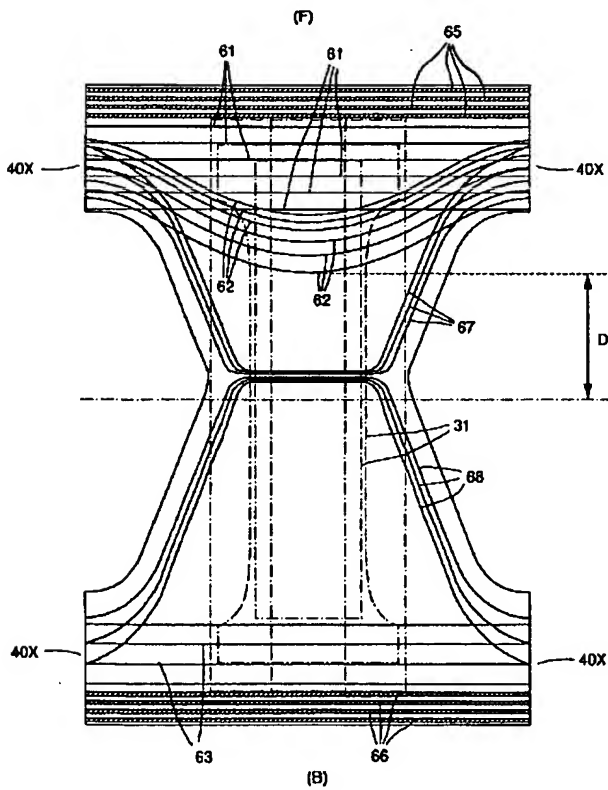
【図8】



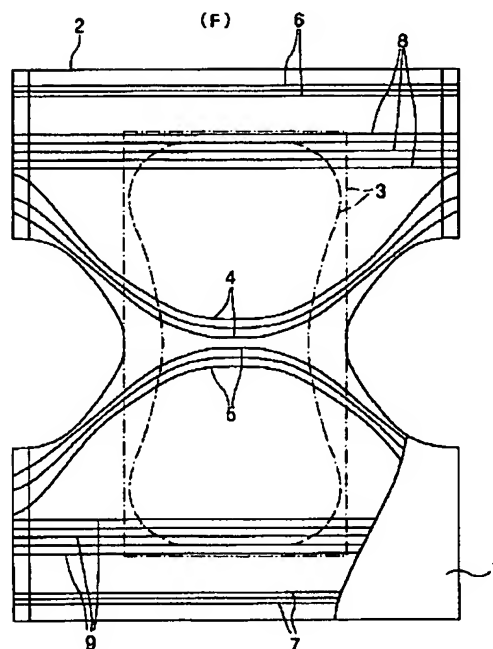
【図9】



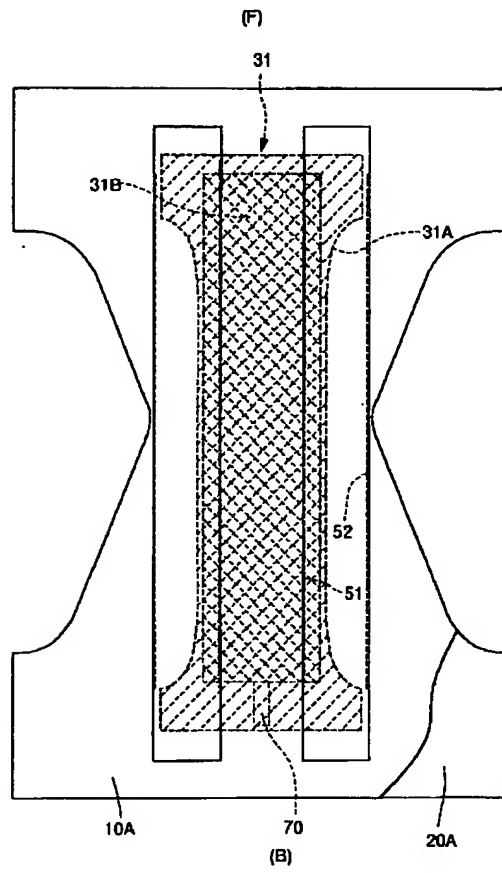
【図10】



【図12】



【図11】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☒ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.